

## 身に付くとは

以前にも伝えた朝の登校風景。信号のない横断歩道を渡る時、子供達は、一旦立ち止まって左右の確認をして渡ります。そして、横断し終わると、停止して待ってれていた車に向かって、一礼して感謝の気持ちを伝えます。

地道なことですが、「止まってくれてありがとう。」という感謝の気持ちを車を運転する人に伝えることで、運転する側も子供達がいるとスピードを落として止まって待ってくださることが増えてきました。車を運転する人達が、優しい気持ちで子供達を見守ってくださっているということは、とてもありがたいことです。



これまで5年間見てきて思うこと。それは、身に付くまで言い続けることの大切さです。当初は、口で言って教え、一緒にそばでお辞儀をし、できたら褒めるということの繰り返しでしたが、今では離れた所で見えていても、ちゃんとできるようになっているのです。人に褒められるからではなく、そういった行動が身に付いたからなのだと嬉しく思います。そして、その行動を周りの子供達も見ても真似ることで広がり、定着してきていると感じます。

学校はまさにそういった場だと思えます。勉強だけでなく、子供達に身に付けさせたい善悪の判断や良好な人間関係のつくり方等、一度言ったからといってすぐにできるというわけではありませんが、先生達は、繰り返し何度も何度も言って聞かせ、できたらほめて意欲をを起こさせるといった指導を続けているのです。それは、きっと御家庭においても同じだと思えます。子供達に良い方向を示し、身に付くまで根気強く関わり続けましょう。

